

【「解答の要点＝解答の結論」と考えて“解答の型”を使う】

今回のダウンロード資料は、「解答の型^{注1)}」を使って解答を書くことが前提の内容です。

注1)：「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の“図解でわかる『解答の型』を使って解答を書く”の資料を参照のこと

1. 結論を先に書く

結論を先に書くと伝えたいことが明確になります。読み手は、書き手が伝えたいことに関する重要な内容（結論）がすぐにわかるからです。しかし、結論だけでは「なぜ、そのような結論に至ったのか？」がわからないので、結論の後に、結論に至った説明、理由あるいは根拠などを書きます。このような書き方をすることで伝えたいことが読み手に明確に伝わります。

解答の型とは、「解答の要点を解答の冒頭に書き、解答の要点に関する説明（要点の説明）をその後に書くこと^{注1)}」です。すなわち、解答の型は、「結論を先に書く」と同じ考え方に基づく解答の書き方です。

2. 「解答の要点＝解答の結論」と考えることができる

解答の要点とは、問題に対する解答の結論のようなものです。例えば、「在宅勤務の問題を1つ述べよ」という問題に対して以下のような解答を書いたとします。この解答では、ゴシック体で書いた文が解答の要点です。

在宅勤務の問題は、情報漏洩の危険性が出てくることである。会社内で仕事を行う場合には、社内のセキュリティによって会社内にある情報が外部に流出する可能性は小さい。しかし、在宅勤務になると、自宅で使うパソコンのセキュリティが会社のセキュリティに比べて脆弱になる。そのため、在宅勤務によって情報が外部に流出する危険性が出てくる。

すなわち、この解答は、解答の型を使って書いているので、解答の要点を解答の冒頭に書き要点の説明をその後に書いています。

「在宅勤務の問題を1つ述べよ」という問題に対する書き手の結論が「在宅勤務の問題は、情報漏洩の危険性が出てくることである」です。すなわち、「解答の要点＝解答の結論」と考えることができます。

ただ、この一文だけではこのような結論に至った理由がわからないので要点の説明

の説明をその後に書きます。このように解答の型を使って書くことで試験官に解答が明確に伝わります。

3. 「解答の結論」と考えてみる

解答の型とは、「解答の要点を解答の冒頭に書き、解答の要点に関する説明をその後に書くこと」です。解答の型を使って解答を書くときには、この考え方にに基づき、問題を読み解答を考えそれを答案用紙に書きます。

解答の要点より解答の結論と考えたほうが「ピンとくる」と思った場合には、解答の型を使って解答を書くとき、「解答の結論をまず考えよう」と思っても構いません。例えば、「3つの技術課題を抽出し」と出題されたら「3つの技術課題の結論は何か？」と考えることです。

ただし、「解答の結論（解答の要点）」を考えるときには、これを簡潔に考えることが重要です^{注2)}。

注 2) : 「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の「図解でわかる 記述式試験の合格に必要となるキーワードは“簡潔と短”」の資料を参照のこと

以 上